

令和5年7月5日

保護者 各位

瀬戸内町立油井小中学校  
校長 川畑 真英

### 感染症に係る基本的感染対策について（お願い）

1学期も締めくくりの時期となりましたが、これまでの教育活動への御理解と御協力に感謝申し上げます。

さて、県名瀬保健所から標記の件につきまして、情報提供と対策に係る依頼がありました。

御存知のとおり、当保健所管内においても、新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの報告数が増加している状況にあります。

つきましては、以下を御確認いただき、感染症対策への御理解と御協力をお願いいたします。

### 記

#### 1 現状について

##### (1) 新型コロナウイルス感染症の状況

6月12日から18日の週における報告数が、前週の約4倍弱となり、次週の6月19日から25日には、その6月12日からの週の約1.5倍となっています。

本土及び沖縄本島との往来等により、増加傾向が続くと予想されています。

##### (2) インフルエンザの状況

6月12日から18日の週に届出が生じるようになり、週ごとに倍増している状況です。この時期の流行は、8年ぶりということです。

その内、14歳以下が約70%を占め、小中学生の割合がかなり高いです。

#### 2 基本的感染症対策について

上記の現状の他にもヘルパンギーナの罹患者数の増加も言われていますので、広く感染症予防や拡大防止について、再度、対策を実施する必要があると考えています。

##### (1) 感染症予防

- ・ 手洗いなどの手指消毒と換気の徹底
- ・ 人混み等（三密）はなるべく避ける。
- ・ 小まめな水分補給
- ・ 栄養と睡眠による免疫力の向上 など

##### (2) 感染症拡大防止

- ・ 発熱など体調が気になる場合は、登校を控え、状況を見て医療機関を受診する。
- ・ 体調を基に「マスク着用」を行う。
- ・ 咳エチケットの励行 など

※ インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスなどの呼吸器感染症を起こすウイルスは、飛沫などに含まれるウイルスや手指などに付着したウイルスが、目、鼻、口などの粘膜から侵入することによって感染すると言われています。マスクは、その飛沫の拡散を抑える働きをします。